

## 第4章 インフラストラクチャ

### 4.1 「使用・開発・探査コンセッション」に関する法制度

「使用・開発・探査コンセッション」を対象に「コンセッション法 (Law on Concession)」が2007年10月19日に制定された。この法律は公共の利益と国家の経済的・社会的目的を達成するために、カンボジアにおける民間資本によるプロジェクトの実施を奨励し促進することを目的としたものである(第1条)。

「コンセッション法」は第5条に規定されるコンセッションに適用されるが、コンセッションはコンセッション契約により供与される(第2条)。

#### コンセッション契約の分野

一般市民に直接または間接にサービスを提供するインフラ設備に関するコンセッション契約は、次のような分野で関係省庁との間で締結される(第5条)。

- a) 発電、送電、配電
- b) 道路、橋、空港、港、鉄道、水路等の運輸設備システム
- c) 水の供給と衛生設備
- d) 通信と情報技術に関するインフラ
- e) 観光リゾート博物館等の観光プロジェクトに関する建造物
- f) 石油やガスのパイプラインを含む石油・ガス関連インフラ
- g) 下水、排水、浚渫
- h) 廃棄物管理と処理
- i) 病院その他健康、教育、スポーツ分野にかかわるインフラ
- j) 経済特区に関連するインフラと社会的住宅供給
- k) 灌漑と農業関連インフラ
- l) 特別法によりコンセッションの供与が許可されている分野

#### コンセッション契約

コンセッション契約は次の形態で締結される(第6条)。

- Build, Operate and Transfer: BOT
- Build, Lease and Transfer: BLT
- Build, Transfer and Operate: BTO
- Build, Own and Operate: BOO
- Build, Own Operate and Transfer: BOOT
- Build, Cooperate and Transfer: BCT

- Expand, Operate and Transfer: EOT
- Modernise, Operate and Transfer: MOT
- Modernise, Own and Operate.: MOO
- インフラ設備の公共・民間共同設置を含む、リース・運営管理、または管理、その他多同様の類似の組み合わせ

#### 行政の機能

カンボジア開発評議会 (The Council for Development of Cambodia: CDC) は投資法に従い投資プロジェクトを実施する際に必要とされる認可を取得するワン・ストップ・サービス機関である。CDCはコンセッション契約の下で実施される適格投資プロジェクト (Qualified Investment Project: QIP) の登録要請を選考されたコンセッション所有者から受領する時に次のような処置を行う(第8条)。

- a) カンボジア投資法に従いコンセッション所有者が得るべき全ての投資優遇措置を許可する
- b) コンセッション・プロジェクトが取得すべき全ての許認可と、それら許認可の発行に責任を有する省庁を指定する
- c) 必要とされる全ての情報と資料が提出された場合には、コンセッション所有者に代わり、関係省庁から全ての必要な許認可を取得する

CDCはカンボジアにおけるコンセッション・プロジェクトへの投資に関し、潜在的な投資家へ一般情報を提供する中央サービス機関である。CDCはカンボジアにおけるコンセッション・プロジェクトに対する申請に関する法令のコピーを全ての潜在的投資家に提供しなければならない(第9条)。

#### 選考

コンセッション契約を締結する省庁は、国際または国内入札手続きを経て、また状況により交渉を通じてコンセッション供与相手を選択する。コンセッション供与先の選択は政令に定める手続きに従い行わなければならない(第11条)。

選考手続きが終了し、契約機関が最終入札または交渉を通じた提案を受け取る準備ができたときには、政令に定める手続きの要請に従い、コンセッション契約の最終的な条件に対する許可を得なければならない(第12条)。

許可を得たのち、契約機関はコンセッション契約締結に先立ち、選考された候補者に対し、コンセッション供与

通知を発行しなければならない(第13条)。

供与通知受領後、遅くとも60日以内にコンセッション供与資格者はコンセッション・プロジェクトを実施する法人をカンボジア法に基づき設立し、投資法に従い適格投資プロジェクトの最終登録証明書(Final Registration Certificate)をCDCに申請しなければならない(第14条)。

## 4.2 電力

### 電力供給の概況

2001年2月に電力セクターの規制のために電力法(The Electricity Law)が公布され、電力供給事業に関する監督・調整を行なう法的組織としてカンボジア電力公社(Electricity Authority of Cambodia:EAC)が設立された。

カンボジアの電力供給開発戦略は、大規模な発電施設を建設し、また発電所建設期間中は近隣諸国から電力を輸入するために、南部と西部地域<sup>1</sup>の大都市間に送電線を建設することから成っている。

カンボジアでは電力は下記の機関によって発電及び配電が行われている。

- 国営企業であるEDC (Electricite du Cambodge)
- 州都における独立系電力事業者 (Independent Power Producers:IPP)を含む民間業者
- 小都市における小規模認可業者
- 農村部における地方電気事業者 (Rural Electricity Enterprises:REE)

EDCはプノンペン、カンダール、及び12の州都(シハヌークビル、コンボンチャム、タケオ、バットアンバン、シエムリアップ、バンテイミチューイ、カンポット、コンボンスプー、ステントレン、スヴァイリエン、プレイベン、ラタナキリ)とベトナム国境の4地域(バベット、メモット、ポンヘクレック、カンボン・トラク)における発電・配電・送電の複合事業認可を受けている。

カンボジアの電力供給は基礎的な需要を満たしておらず、地方では依然として24時間供給は保証されておらず、またその品質も信頼性に欠けるのが現状である。2007年のカンボジア電力開発計画によると、電力需要は2020年まで急速な増加を辿ると予想されている。カンボジアの将来電力需要は表4-2-1に示す通りである。

表4-2-1 電力需要予想 (MW)

2012	2015	2018	2020
1,062	1,643	2,283	2,770

出所: 鉱工業・エネルギー省

現状ではカンボジアの全所帯の22.7%(都市部では54%、農村部では13%)で電力使用が可能である。EDCは2020年までに全ての村で、また2030年までにはその他の農村地帯においても70%の地域に電力を供給する計画である。

増加する需要を賄うため、カンボジア政府は2008年から2021年に至る電力開発計画を策定済みである。電源の拡大に伴い送電線も建設中であり、また近隣諸国からも電力を輸入している。

### 電力資源拡張

電力資源拡張に関して、鉱工業・エネルギー省のエネルギー開発局は2020年までの電力供給開発計画を策定しており、表4-2-2にあるように、8つの水力発電所、3つの火力発電所が2020年までに完成予定となっており、最大約6,300MWの供給が可能となる見込みである。

鉱工業・エネルギー省によれば、表4-2-3に示すように、タイとベトナムからの電力輸入のための送電線建設は2012年に完成が予定されており、この結果カンボジアのほぼ全土に電力が行き渡ることになる。それに加え、ラオスや他の近隣国を結ぶ送電線の拡張も2019年に完成が見込まれる。

ベトナムとの電力協力協定は1999年6月10日に締結され、さらに電力購入契約も2001年に締結されている。電力購入契約は5年ごとに更新される予定である。2002年以降EDCはベトナムの電力会社(PC2)から電力を輸入してバベット(スバイリエン州)、メモット(コンボンチャム州)、ポンヘクレック(コンボンチャム州)等に供給してきている。プノンペンへの電力供給を確保するために、200MWの電力購入契約がベトナムとの間で締結され、プノンペン/タケオ/ベトナムを結ぶ220kVの送電線の工事も終了している。この購入契約の下で、一日当たり300MWを必要とするプノンペンに対し、120MWがベトナムから送電され始めている。更に50MWが上乘せされ、契約量200MWのうち合計170MWが送電されることになっているが、最近のベトナムにおける電気不足によって依然として実現されていない。

電力購入契約は当初2002年にタイとの間で締結さ

<sup>1</sup> 南部地域にはプノンペン市、カンダール(Kandal)、コンボンスプー(Kampong Speu)、タケオ(Takeo)、カンポット(Kampot)シハヌークビル(Sihanoukville)を含み、西部地域にはバンテミンチャイ(Banteay Mean Chey)、バットアンバン(Battambang)、シエムリアップ(Siem Reap)州が含まれる。

れ、2007年に改訂されている。現在カンボジアとタイとの間の電力は22kVと115kVで送電されている。タイのトラット県との間で結ばれた契約により、22kVの送電線を通してカンボジア側のコーコンとポイペトに電力が供給されている。2007年11月からは115kVの送電線を通して、タイのアラン・プラット変電所から電力輸入が始まり、バタンバ

ン、シェムリアップ等に供給されている。

ラオスとの電力協力協定は1999年に締結され、ラオス南部とカンボジアのスタントレンとの間の115kV送電線による電力供給で合意した。送電線の建設は2016年に完成予定である。

村落の電化はカンボジアにとって大きな問題の一つで

表4-2-2 電力供給源拡張計画

番号	プロジェクト	供給国	発電方法	発電量 (MW)	操業開始年
1	Kamchay Hydro Power Plant	中国	水力	193.2	2011
2	Kirirom III Hydro Power Plant	中国	水力	18	2012
3	Stung Atay Hydro Power Plant	中国	水力	120	2013
4	200MW Coal Power Plant (I) in Sihanouk Province -Phase 1	マレーシア	火力	100	2013
5	Stung Tatay Hydro Power Plant	中国	水力	246	2013-2014
6	Lower Stung Russey Chhrum Hydro Power Plant	中国	水力	338	2013-2014
7	700MW Coal Power Plant (II) -Phase 1	中国	火力	270	2014-2015
8	200MW Coal Power Plant (I) in Sihanoukville Province-Phase 2	中国+	火力	135	2016
9	700MW Coal Power Plant (II) -Phase 2	カンボジア	火力	100	2017
10	Lower Se San II Hydro Power Plant	中国	水力	400	2017
11	Stung Chhay Areng Hydro Power Plant	中国	水力	108	2017
12	700MW Coal Power Plant (II) -Phase 3	中国	火力	100	2018
13	700MW Coal Power Plant (II) -Phase 4	中国	水力	100	2018
14	Lower Se San I Hydro Power Plant	ベトナム	水力	90	2018
15	700MW Coal Power Plant (II) -Phase 5	中国	水力	100	2019
16	Sambor Hydro Power Plant	中国	水力	2600	2019
17	Stung Treng Hydro Power Plant	ベトナム	水力	900	2020
18	Coal Power Plant (III) or Gas Power Plant	-	石炭・天然ガス	400	2020
Total				6,318.2	

出所: 鉱工業・エネルギー省

表4-2-3 送電線拡張計画

番号	プロジェクト名	距離(Km)	支援機関	完成予定
1	110kV, Kampong Cham - Vietnam, (construct 3 substations: Kampong Cham, -Sung, -Pongnearek).	68	WB	2010
2	230kV, Takeo - Kampot (construct substation in Kampot)	87	KFW	2011
3	230kV, Phnom Penh - Kampong chhang - Pursat - Battambang (construct 3 substations: Kampong chhang - Pursat - Battambang)	294	CPG	2012
4	230kV, Pursat - Osom, (construct 1 substation in Osom Commune)	175	CPG	2012
5	230kV, Phnom Penh - Kampong chhang,	110	CUPL	2012
6	230 kV, Kampong Cham - Kratie,	110	CUPL	2013
7	230kV, Stung Tatay Hydro - Odom substation,	60	CHMC	2013
8	230kV, Kampot - Sihanoukville	82	ADB&JBIC	2013
9	230kV, Stung Treng - Loa PDR, (construct substation in Stung Treng)	56	WB	2014
10	220kV, Phnom Penh - Sihanoukville, along national road 4, (construct substation in Sre Ambil)	165	CHMC	2014-2015
11	115kV, East Phnom Penh - Neakleung - Svay Rieng, (construct 2 substations, - Neakleung, - Svay Rieng)	120	CHMC	2015
12	230kV, Kratie - Stung Treng,	126	INDIA	2015
13	115kV, West Phnom Penh - East Phnom Penh, (construct substation GS4 at South Phnom Penh)	20	WB	2015
14	230kV, Stung Chhay Areng Hydro - Osom substation	60	CGC	2017
15	230kV, Kampong Cham - Kampong Thom - Sien Reap, (construct 1 substation in Kampong Thom)	250	KTC	2019
16	500kV, Loa PDR (Ban Sok) - Stung Treng - Vietnam (Tay Ninh), (construct substations in Stung Treng)	220	ADB	2019
合計		2,003		

出所: 鉱工業・エネルギー省

ある。村落電化に関するカンボジアの戦略は、2003年に作成された「再生可能エネルギー行動計画(Renewable Energy Action Plan:REAP)」と2008年に作成された「カンボジア・エネルギー分野戦略(Cambodia Energy Sector Strategy:CESS)」に基づき計画されている。また村落電化基金(Rural Electrification Fund: REF)が2004年に設立されている。同計画に基づき、モンドルキリ州においては2基の370KWの小水力発電所が建設され、予備の300KWのディーゼル発電機とともに地方都市への電力供給を始めている。

#### 電力料金

主な都市と州の電力料金は、「9章ビジネス・コスト/9.1 光熱費/a.電気代」に収録されている。

### 4.3 通信

#### 電話サービスの概況

カンボジアにおける電気通信分野の政策及び規制の策定を担当しているのは郵政・電気通信省(MPTC)はである。郵電省は電話の固定回線も運営していたが、電気通信部門を分離して、40.3百万米ドル相当の総資産と700名の従業員を擁する公企業“Telecom Cambodia”を2006年1月に設立し、市外局番「023」に関連するサービスを提供している。同社は、近い将来カンボジア証券取引所(CSE)

に上場するようにカンボジア政府から指示されている。

また、通信規制に係る機能についても、「カンボジア通信監督機構の設立」に関する勅許No.:ns/rkt/0312/175に基づき、2012年9月20日に新たに設立されたカンボジア通信監督機構が担うこととなり、郵政・電気通信省の現在の主な役割は、政策・戦略的開発計画策定および通信セクターにおける国際協力の実施となっている。

カンボジアにおける光ファイバーバックボーンの全長は、2011年中頃時点で22,380 kmであり、そのうち1,200 km がTelecom Cambodiaに、5,180 kmがCambodia Fiber Optic Cable Networkに、16,000 km がViettel Cambodiaに割り当てられている。また、タイのCAT Telecom Public Co., Ltd、ベトナムのVietnam Telecom International (VTI)、ラオスのETL Public Company等、近隣国の主な公営通信企業との光ファイバーによる接続も2010年7月に完了した。

表4-3-1に示す通り2011年におけるカンボジアの電話加入者は2008年の4倍以上に達し、急激に伸びている。2011年時点における電話普及率は113.55であり、このうち109.64が携帯電話加入者である。換言すれば、電話加入者のうち、96.6%が携帯電話の利用者である。

#### 電話サービス業者

カンボジアにおける固定電話回線のサービス業者はカミンテル(Camintel)、カムシン(Camshin)及びテレコム・カンボジア(Telecom Cambodia)の3社であるが、中

表4-3-1 電話の加入状況及びカバー率

		2008年	2009年	2010年	2011年
人口(人)		13,400,000	13,900,000	14,100,000	14,300,000
加入者数 (人)	固定回線	43,417	100,887	358,750	559,381
	携帯電話	3,791,834	6,346,720	10,537,628	15,678,829
	合計	3,835,251	6,447,607	10,896,378	16,238,210
カバー率 (%)	固定回線	0.32	0.73	2.54	3.91
	携帯電話	28.30	45.66	74.73	109.64
	合計	28.62	46.39	77.28	113.55

出所:カンボジア郵政・電気通信省(MPTC)

表4-3-2 携帯電話サービス業者

名称	局番	運営会社
Cellcard (Mobitel)	012/ 017/ 077/ 078/ 089/ 092/ 095	CamGSM (Royal Group+Millicom International)
Metfone	088/ 097	Viettel (Cambodia) Pte.,Ltd
Smart mobile	010/ 069/ 070/ 086/ 093/ 098	Latelz Co., Ltd
Beeline	066/ 067/ 068/ 090	Sotelco Ltd. (Vimpelcom Group)
Mfone	011/ 061/ 076/ 085/ 099	Mfone Co., Ltd
Hello	015/ 016/ 081/ 087	Hello Axiata Co., Ltd
Qb (Cadcomms)	013/ 080/ 083/ 084	Cambodia Advanced Communications Co.Ltd
ExCell	018	GT-Tell (Cambodia) Investment Company Ltd.
XinWei	038	Xinwei (Cambodia) Telecom Co., Ltd

出所: CDC Japan Desk



でもTelecom Cambodiaは固定回線サービスについては最も有力であり、国際電話サービスも提供している。カンボジアでは現在、9社が携帯電話サービスを提供しているが、各社の社名及びサービス内容は表4-3-2に示す通りである。

国際通話については、全ての携帯電話サービス業者が、VoIP (Voice over Internet Protocol) サービスを提供しており、世界中の殆どの地域との通話が可能である。通話料金は、毎分0.06ドルから0.5ドル程度だが、地域により通話時の音声の質が十分でない場合がある。

### インターネット・サービス

インターネットは、カナダのInternational Development Research Center (IDRC) の支援をうけた郵電省が1997年に導入し、現在はカムネット (CamNet) という名称でテレコム・カンボジアが運営している。

ドイツのKfWの支援を受けて1999年、光ファイバーが、タイからカンボジアのバットンバン、プノンペン、バベットを経てベトナムまで敷設された。この他、2005年3月に「大メコン電気通信バックボーン・ネットワーク・プロジェクト (カンボジア成長回廊)」に関する融資がカンボジア政府とJBICの間で合意され、コンポンチャム、プノンペン、シハヌークビルを、全長400kmの光ファイバーで結ぶプロジェクトが開始された。

「GMS情報スーパーハイウェイ・プロジェクト」の一環として、カンボジア、中国、ラオス、ミャンマー、ベトナム、タイを結ぶ650kmに及ぶ光ファイバーケーブルの敷設が2009年7月に完了した。カンボジア国内では、シェムリアップからコンポンチャム及びメモットを経て、ラオス国境まで敷設されている。今回新たに敷設されたケーブルは、シェムリアップでベトナム国境からタイ国境を結ぶ既存のケーブルに接続された。現在、カンボジアの国土のうち約3分の2が、光ケーブルによってカバーされている。

インターネット・バックボーンは、シンガポール、香港、ドイツ、アメリカ等の通信衛生を経由して150Mbpsから500Mbpsで接続されており、またベトナムおよびタイのIPトランジットを経由して400Mbpsで接続されている。

2012年10月現在では、カムネット (Camnet)、オンライン (Online)、テレサーフ (TeleSurf: Cam GSM)、カミンテル (Camintel)、メットフォーン (Metfone)、シテイリンク (CityLink)、ウィカム (WiCam)、クリックネット (Clicnet)、イジイコム (Ezecom) など37社が認可を受け、インターネット・サービスを供給している、

表4-3-3で示すとおり、インターネットの契約者数は2008年から2011年までの間で飛躍的に伸びている。2011年末

時点での契約者数は1,689,389人で、普及率も11.81%であった。契約者数の73%が携帯電話による利用者である。

表4-3-3 インターネット契約者数および普及率

	2008年	2009年	2010年	2011年
人口(人)	13,400,000	13,900,000	14,100,000	14,300,000
契約者数(人)	20,402	291,589	320,190	1,689,389
普及率(%)	0.15	2.10	2.27	11.81

出所:カンボジア郵政・電気通信省(MPTC)

### 郵便サービス

2010年6月21日付け「公共企業体としてのカンボジア郵便の設立に関する政令57号」により「カンボジア郵便 (Cambodia Post: C.P.)」が国営企業として発足した。同政令により、カンボジア郵便が郵便分野におけるサービス提供者に指名された。カンボジア郵便は次のような義務と権利を有する。

- (1) 国の内外を問わず、EMS (Express Mail Service) を含む全ての種類の郵便物を受取り、収集し、輸送し、配達するサービスを行う
- (2) 郵便と電気通信分野にサービスを提供するための、その他物品・製品の販売
- (3) 郵便及び金融事業の運営
- (4) カンボジアの内外で郵便サービスを提供するためのサービス料の設定
- (5) カンボジア国内における郵便局の設置
- (6) 郵便分野に資するための郵便切手販売機を使用する権利の取得
- (7) 郵便事業を行うための国内外の企業や機関との協力
- (8) 郵電省と経済財務省の許可に基づき、投資資金を調達するための借り入れ契約の締結

カンボジア郵便の当初の資本金は郵電省と経済財務省が決定し、職員は郵電省の職員から募集される。郵電省は現在郵便局を増設し、表4-3-4に示すように1局当りの利用者数を削減することを計画している。

表4-3-4 郵便局1カ所当りの利用者数

項目	2008	2009	2010	2011	2012	2013
局当り利用者数	161,445	163,932	140,968	125,256	111,286	101,147

#### 4.4 水資源

水資源気象省 (Ministry of Water Resources and Meteorology: MOWRAM) が水資源の開発及び管理を、地方開発省 (Ministry of Rural Development: MRD) が地方における水の供給と衛生 (Rural Water Supply and Sanitation: RWSS) をそれぞれ所管している。一方、鉱工業・エネルギー省 (MIME) は州都及び中・小規模の地方都市における飲料水の供給と、水道事業に参入する民間業者の管理・監督を所管している。

鉱工業・エネルギー省が所管する都市水道事業は次のように規定されている。

- (1) 水の浄化処理施設の保有
- (2) 水道管を通じた清潔な水の供給

また鉱工業・エネルギー省が担当する「都市区域」は次のように規定されている。

- (1) 人口密度が2,000人/km<sup>2</sup>以上であること
- (2) 農業人口が50%未満であること
- (3) 地域人口が2,000人を越えること

プノンペンでは1996年以降、プノンペン水道公社 (Phnom Penh Water Supply Authority: PPWSA) が、シエムリアップではシエムリアップ水道公社 (Siem Reap Water Supply Authority: SRWSA) が、それぞれ水を供給している。鉱工業・エネルギー省の水道部 (Department of Potable Water Supply: DPWS) は、11の州都及び約60の中・小規模の地方都市に水を供給している。現在、MIME-DPWSの監督の下、約122の民間業者が商業ベースで飲料水の供給事業に参入している。一方、地方開発省の地方水道部 (Department of Rural Water Supply: DRWS) と地方健康管理局 (Department of Rural Health Care: DRHC) の2つの局が、1,000世帯以下の小規模な地方の町村への水の供給を所管している。

表4-4-1の通り、2008年の時点で、カンボジアの全世帯のうち36.2% (都市部では67.4%、農村部では29.4%) が自宅の敷地内で飲料水を入手することができる<sup>2</sup>。カンボジア政府は、JICA、ADBや世銀等のドナーと協力して、安全な水へのアクセスの改善に取り組んできている。

表4-4-1 飲料水の水源の立地における世帯分布 (2008年)

水源	世帯		
	合計	都市部	農村部
数	2,817,637	506,579	2,311,058
合計	100.0%	100.0%	100.0%
敷地内	36.2%	67.4%	29.4%
その他	63.8%	32.6%	70.6%

出所: 国家統計局 (2008)

都市部と農村部のいずれにおいても、飲料水の供給設備の運営及び維持・管理は課題のひとつである。しかし政府の予算不足のために、これら設備の更新、改善等は困難な状況にある。カンボジア政府はリースやBOT/BOO等のコンセッションなど、様々な形態での民間企業等による当該分野への参入を奨励しており、今後、民間企業及びNGOによる参入が期待される。

2009年では飲料水供給システムから供給される水道水を利用できる地方都市が11カ所あり、カンボジアの都市人口の51%がこれを利用しているものと推定されている。またプノンペンでは人口の90%が24時間安全な飲料水を得ることが出来ると推計されている<sup>3</sup>。

#### 4.5 航空

現在、カンボジアの11の空港のうち、定期便が利用できるのはプノンペン国際空港 (Phnom Penh International Airport: PPIA)、シエムリアップ国際空港 (Siem Reap International Airport: SRIA) とシハヌーク国際空港の三つである。

カンボジアの空港の現状は、表4-5-1に示す通りである。

フランスのヴィンシー (Vinci) が70%、マレーシア・カンボジアの合弁会社であるムヒバ・マステロン (Muhibbah Masteron) が30%を保有する民間の共同企業体である“Société Concessionnaire des l' Aéroports (SCA)” は、1995年にPPIA、2001年にSRIA、2006年にシハヌーク国際空港 (Sihanouk International Airport) のBOTコンセッション (25年間) をそれぞれ取得した。SCAの100%子会社であるカンボジア空港マネジメント・サービス社 (CAMS) が、上記3つの空港を運営している。カンポンチュナン空港以外の空港は全て国内航空国家事務局 (SSCA) が管理している。その他、アンコール国際空港 (Angkor International Airport) と称されるシエムリアップの新空港プロジェクトが、韓国のリー・アンド・エー社を含む投資家グループにより準備されている。

現在、プノンペン国際空港からは、表4-5-2にある通り、11の国・地域の14の目的地への直行便が運航されており、シエムリアップからは18の国際線空路がある。

「カンボジア・アンコール航空 (Cambodia Angkor Air Ltd (CAA) 」は2009年7月27日にベトナム航空 (49%)、カンボジア投資会社 (Cambodian Investment Company: 26%) 及びカンボジア政府 (25%) の合弁会社として設立さ

<sup>2</sup> National Institute of Statistics (NIS) (2009) *General Population Census of Cambodia 2008*

<sup>3</sup> National Strategic Development Plan Update 2009-2013

表4-5-1 カンボジアにおける空港の現状

空港	滑走路(m) 路面/レファレンス番号	ILS	面積 (ha)	所有者・運営者	現状	備考
国際空港						
プノンペン	3000x45/ Asphalt/ 4D	有	387	RGC/SCA	運営中	ILS はRWY 23 のみ
シェムリアップ	2550x45/ Asphalt/ 4C	有	197	RGC/SCA	運営中	2009年からRWY 05用ILSが稼働
シハヌーク	2500x40/ Asphalt/ 4C		123.84	RGC/SCA	運営中	2007年7月に再開港
国内空港						
コンポンチュナン	2400x45/ Concrete/ 4C		2011	RGC/Air Force	閉鎖中	当空港は一部陸軍の土地を利用
バタンバン	1600x34/ Bitumen/ 3C		128.68	RGC/SSCA	運営中	-
ストウントウレン	1300x20/ Laterite/ 3C		112.5	RGC/SSCA	運営中	-
ラタナキリ	1300x30/ Laterite/ 3C		48.09	RGC/SSCA	運営中	-
コッコ	1300x30/ Laterite/ 3C		125.66	RGC/SSCA	運営中	-
モンドルキリ	1500x20/ Laterite/ 3C		36	RGC/SSCA	閉鎖中	2007年7月から一時的に閉鎖中
プレアビヘア	1400x20/ Laterite/ 3C		150.98	RGC	閉鎖中	-
クラティエ	1180x20/ Laterite/ 3C		112.5	RGC	閉鎖中	-

注: "ILS"は、"Instrument Landing System" (計器着陸装置)の省略形。  
出所: Infrastructure and Regional Integration Technical Working Group (2009)

表 4-5-2 プノンペン国際空港からの出発便 (2012年10月25日から2013年3月24日まで有効)

国・地域	目的地	便数
中国	広州 - 北京	1日1便、1航空会社(直行便)
	南寧	1日1便、1航空会社(直行便)
	上海	1日1便、1航空会社(直行便)
香港	香港	1日2便、1航空会社(直行便)
マレーシア	クアラルンプール	1日4便、2航空会社(直行便)
シンガポール	シンガポール	1日4便、3航空会社(直行便)
韓国	仁川	1日2便、2航空会社(直行便)
台湾	台北	1日1便、1航空会社(直行便)
タイ	バンコク	1日7便、3航空会社(直行便)
ラオス	ビエンチャン	1日1便、1航空会社(直行便)
ベトナム	ホーチミン	1日3便、2航空会社(直行便)
	ハノイ	1日1便、1航空会社(1ストップ)
ミャンマー	ヤンゴン	週2便 x 1航空会社
フランス	パリ	週3便(バンコク経由)

出所: プノンペン国際空港ウェブサイト(<http://www.cambodia-airports.com/>)

れたが、2011年12月14日からシェムリアップーシハヌークビル間にATR-72による週2便の定期空路を開設しているが、さらに保有機数を15機に増やし、日本・中国・韓国・全アセアン加盟国への空路を開設することを計画している。

1993年に設立されたミャンマー航空(Myanmar Airways International: MAI)は2011年2月からシェムリアップ国際空港への運行を始め、2011年11月には冬季スケジュールとして、A-320による「ヤンゴン-シェムリアップ-プノンペン」路線を開設した。現在はプノンペンとシェムリアップにそれぞれ週2便を運航中である。

また2012年初からはシンガポールのタイガー航空(Tiger Airways)と韓国のイースタージェット(Easter Jet)がカンボジアへ就航する22番目と23番目の航空会社として空路を開設済である。

表4-5-3に示す通り、プノンペン国際空港とシェムリア

ップ国際空港を利用する便数は2007年にピークを迎えた後、世界経済の悪化の影響を受け2008年・2009年と減少した。2010年にはシェムリアップへの観光客が通常に戻ったこととプノンペンへの業務出張が増加したことから、2007年の水準に戻っている。

プノンペン国際空港の旅客数は経済不況の影響を受けた2009年にいったん減少したが、2010年には回復し、2009年比8%の伸びを示した(図4-5-4参照)。カンボジア経済が順調な発展を続けていることから2011年の最初の8カ月間を見てみると2010年の同月比25%の増加となっている。

2008年からの経済不況により観光業も大きな打撃を受けたため、シェムリアップ国際空港の国際旅客数は2008年、2009年と2年続けて減少した。経済の回復とともに2010年にはアンコールワットを訪れる観光客も増加し始

表4-5-3 国際便及び国内便の数(プノンペン国際空港及びシェムリアップ国際空港)

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
国際便 (PPIA)	12,9109	15,292	17,092	16,253	16,096	16,855
国内便 (PPIA)	4,125	3,990	4,789	4,130	4,256	3,301
国際便 (SRIA)	12,657	14,660	16,924	15,431	13,287	15,354
国内便 (SRIA)	4,266	4,197	5,088	4,551	4,960	5,093

出所: プノンペン国際空港ウェブサイト(<http://www.cambodia-airports.com/>)

表4-5-4 乗客数(プノンペン国際空港)

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
到着(国内便)	80,033	79,594	88,314	76,609	58,517	52,286
出発(国内便)	78,063	75,842	90,632	80,052	63,529	57,375
到着(国際便)	455,059	575,641	701,898	754,060	718,148	832,064
出発(国際便)	468,590	591,190	717,580	781,149	747,792	774,689

出所: プノンペン国際空港ウェブサイト(<http://www.cambodia-airports.com/>)

表4-5-5 乗客数(シェムリアップ国際空港)

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
到着(国内便)	72,743	75,734	90,677	83,347	66,333	60,191
出発(国内便)	74,451	79,395	93,983	86,929	70,089	55,128
到着(国際便)	436,528	596,931	774,338	681,209	557,465	716,012
出発(国際便)	454,396	608,328	773,430	680,335	561,279	732,968

出所: カンボジア空港ウェブサイト (<http://www.cambodia-airports.com/>)

め、シェムリアップ国際空港の旅客数も2007年のピーク時に近い数に達した。カンボジアエアポート社は、2011年のシェムリアップ国際空港の利用者が200万人を超えると予想している。

#### 4.6 道路

カンボジアの道路網の全長は約52,500 kmで、このうち5,600 kmが国道、6,600 kmが州道で、いずれも公共事業・運輸省(MPWT)の管轄である。これら以外の40,300 kmの道路はMRDが所管している。自動車専用道路はカンボジアにはない。内戦中にカンボジアの道路は大きく損傷されたが、国際機関等の支援の下、主要道路のほとんどは修復されている。

カンボジアと近隣諸国を結ぶ国際道路の現況は、表

4-6-2の通りである。国道1号及び5号はアジア・ハイウェイ1号の一部、国道4号、6号及び7号はアジア・ハイウェイ11号の一部、国道48号、3号及び33号はアジア・ハイウェイ123号の一部、国道66号及び78号はGMS(Greater Mekong Sub-region)の幹線高速道路の一部をそれぞれ形成している。

日本政府とカンボジア政府は2010年10月に、メコン河にかかるネアックレン橋の建設のための無償援助協定に署名した。ネアックレン橋は南部経済回廊とアジア・ハイウェイに取って不可欠のものである。現状では国道1号線はメコン河で遮られており、フェリーで渡河する必要がある。2015年に新しい橋が完成すれば、プノンペンからベトナム国境のバベットまでの所要時間は大幅に短縮されることになる。

表4-6-1 道路網の距離(2012年)

道路の種類	長さ(%)	橋の数(長さ)	所管省庁
国道(1桁)	2,258 km(4.3%)	589(17,643m)	MPWT
国道(2桁)	3,342 km(6.3%)	698(15,710m)	
州道	6,607 km(12.6%)	904(16,309m)	
地方道路	40,379 km(76.8%)	1,869(26,559m)	MRD
	52,586 km(100.0%)		

注: RDの数値は2012年7月時点のもの。公共事業交通省の数字は、道路については2012年、橋については2006年のものである。  
出所: 公共事業交通省



表4-6-2 カンボジアにおける国際道路

GMS 道路番号	アジア・ハイウェイ 番号	アセアン・ハイウェイ 番号	カンボジア 道路番号	経路
R1 (Central Sub-corridor)	AH1	AH1	NR1, NR5	Poi Pet -Sisophon -Phnom Penh -Svay Rieng - Bavet
R6 (Inter-Corridor Link)	AH11	AH11	NR4, NR6, NR7	Sihanoukville -Phnom Penh - Kampong Cham - Stung Treng -Trapeng Kreal
R10 (Southern Coastal Sub-corridor)		AH123	NR48, NR3, NR4, NR33	Cham Yeam -Koh Kong -Sre Ambel -Veal Rinh -Kampot -Lork
R9 (Northern Sub-corridor)			NR66, NR7, NR78	Siem Reap -Talaborvath- O pongmoan- O Yadav Boder

出所: Infrastructure and Regional Integration Technical Working Group (2010)

表4-6-3 カンボジアにおける主な道路改修工事プロジェクト

番号	ドナー	費用(百万ドル)	長さ(km)	場所・地域	年		資金
					開始	終了	
1	Japan	80	56	Phnom Penh- Neak Loeung	2005	-	無償
2	ADB	-	63	Kbal Thnal- Takeo	2001	-	借款
3	China	71.5	109	Preak Ta Mak- Anlong Chrey	2007	2010	借款
4	ADB	13	17	Kampong Trach - Kampot	2007	2010	借款
5	China	57.8	157	Meanchey- Preah Vihear	2008	2011	
6	China	51.9	127	Snuol- Sen Monorom	2007	2010	借款

Source: Infrastructure and Regional Integration Technical Working Group (2009)

表4-6-4 カンボジアにおける主要な橋梁建設の状況

橋梁の名称	ドナー	費用 (百万ドル)	長さ(km)	場所	年		資金
					開始	終了	
Kizuna	日本	57	1.3	Kampong Cham(国道7号)	1996	2001	無償
Chrouy Changvar	日本	23	0.7	Phnom Penh(国道6A号)	1992	1994	無償
Neak Loeung	日本	131	1.6	Kandal, Svay Rieng(国道1号)	2010	2014	無償
Preak Ta Mak	中国	43.5	1.1	Prey Veng(国道8号・6A号)	2007	2011	借款
Preak Kdam	中国	28.9	1	Phnom Penh(国道5号・61号)	2007	2011	借款
Kampong Bai	韓国	-	0.3	Kampot (国道3号の一部)	2005	2007	借款
Se Kong	中国	-	-	Toeng Treng (国道7号)	2005	2008	借款
Koh Kong	民間	7	-	Koh Kong(国道48号)	2001	-	BOT
Stung Meanchey	民間	5	-	Phnom Penh -Chaom Chao	1999	-	BOT
New 2 <sup>nd</sup> Churoy Changvar	中国	90	-	Phnom Penh (国道6A号)	-	-	借款
Prek Phnov	民間	42	1.543	Phnom Penh (国道6A号)	-	2010	BOT
Mekong River Bridge in Stung Treng	中国	5	1,731	Stung Treng(国道9号線)	2012	2014	借款
Koh Thom Bridge	中国	25		Kandal	2012	2014	借款

出所: 公共事業交通省

#### 4.7 鉄道

カンボジアの鉄道網は、プノンペン・シハヌークビル間の264kmを結ぶ南線及びプノンペンとタイ国境のポイペトを結ぶ336kmの北線の二つの路線からなっているが、北線のシソフォンからポイペト間の48kmは完全に喪失されている。鉄道施設の現況は表4-7-1に示す通りである。

南北線共にインフラは劣悪な状態であり、毎時15～20キロ程度で運行されてきた。こうした状況を改善すべく、カンボジア政府は2009年6月にオーストラリアの「トール社 (Toll Holdings)」と30年のコンセッション契約を締結し、鉄道の再建を目指すことになった。アジア開発銀行 (ADB) とオーストラリア国際開発庁 (AusAID) が、鉄道網とインフラ改善資金として1億4,000万ドルの融資に同意したが、改善プログラムにはポイペト・シソフォン間の48kmの再構築およびプノンペン近辺での新しい貨物ターミナルの建設も含まれている<sup>4</sup>。リハビリ計画では、北線においては最高時速50キロで20トンの貨物の運搬を可能とし、南線では15トンの貨物運搬を実現することを目指している。鉄道コンセッションは現在「トール・カンボジア・ロイヤル (Toll Royal Cambodia)」と称しているが、トール社が55%、カンボジアのロイヤルグループが45%の権益を保有している。

コンセッション契約の締結後、2009年10月1日付け政令163号により公共事業交通省内に「鉄道局 (Department of Railwa)」が設置され、2009年11月15日付け政令164号により国営企業としての「王立カンボジア鉄道 (Royal Railway of Cambodia)」は廃止された。

リハビリ工事の開始に伴い、2009年11月から南北線の運行は休止されていたが、現在ではプノンペン・トクミアス (プノンペンから118キロ地点、カンポット近郊) 間のリハビリ工事が終了し、週に1～2便の貨物便が、カンポ

ットからプノンペンへセメントを運んでいる。残るトクミアス・シハヌークビル間の工事は2012年末までに終了し、2013年の前半にもプノンペン・シハヌークビル間の全線で商業運転が開始される見込みである。商業運転開始後にはトール・ロイヤル社はコンテナ、建設資材、石油・ガソリン、セメント等をシハヌークビルやカンポットからプノンペンへ運搬することを計画している。コンテナ運搬のために、全長1キロにおよび列車の運行も計画されている。鉄道によるコンテナ輸送を可能とするために、シハヌークビル港とシハヌークビル駅の間に新しいコンテナ・ヤードを開設する計画もある。

北線ではプノンペンと南北線の分岐点 (プノンペンから35キロ地点) 間のリハビリ工事が終了しており、2011年4月から一部の貨物輸送が始められている。ポイペト・シソフォン間の48キロを含むリハビリ工事が2008年から開始されたが、工事業者の都合により現在工事が停止しており、開通見込みは立っていない。

バドゥーン (Bat Deoung) とトラピアン・スレ (Trapeang Sre) 乃至はログニン (Lognign) 間 (カンボジアとベトナム間の鉄道接続ポイント) の鉄道施設に関する事業化調査は既に終了しており、2010年12月には最終事業化報告書が作成されている。

カンボジアとベトナムの「鉄道越境協定」が2008年11月4日に締結されているが、同様の協定がタイとの間で協議中であり、「鉄道接続ポイントに関する協議覚書」がカンボジアの公共事業交通省鉄道局とタイ国有鉄道 (SRT) の間で2012年8月16日に署名されている。

現在鉄道マスタープラン調査がKOICAによって実施中で、2013年6月に終了する見込みである。

表4-7-1 鉄道の設備の現状

項目	北線 (NL)	南線 (SL)
長さ (km)	336 (消失している48km区間を含む)	264
場所	Phnom Penh - Kampong Chhnang - Pursat - Battambang - Sisophon - Poipet	Phnom Penh - Takeo - Kampot - Sihanoukville
建設年度	1929-1942	1960-1969

出所: Infrastructure and Regional Integration Technical Working Group (2010)

<sup>4</sup> <http://www.tollroyalrailway.com/>

## 4.8 港湾

シハヌークビル港はカンボジアにおける唯一の深水港である。同港は着実に拡張されて来ており、現在では近代的な貨物処理設備をもつ12のバースが設置されている。港への進入路として南水路（長さ5.5km、深さ8.4m、幅80-100m）と北水路（長さ1km、深さ10m、幅150-200m）がある。シハヌークビル港公社（Port Authority of Sihanoukville: PAS）によれば、同港の現況は表4-8-1～5<sup>5</sup>の通りである。

2008年までシハヌークビル港のコンテナの取扱量は直実に増加してきたが、2008年以降の経済不況の影響を受け、欧米へのアパレル輸出が大きく減少したことから、2009年には荷扱量が急減した。やはり不況の影響を受け建設工事が減少したことから、建設資材を中心とする一般貨物の取扱量も2009年に落ち込んだ。2010年に入り、アパレル輸出の回復と共に、コンテナ扱量は再び成長軌道に乗っている。一般貨物の取扱量も2010年に急増しており、2008年のピークを越えている。2011年には輸出の伸びに伴いコンテナ取扱量は更に増加したが、一般貨物は2010年レベルに留まっている。

シハヌークビル港経済特区は、シハヌークビル港のコンテナターミナル隣のシハヌークビル港公社所有地70ヘクタールに、日本からの円借款により2009年10月から建設されてきたが、2012年5月1日に完工し、現在入居可能な状態となっている。

シハヌークビル港への配船状況及び寄港地は表4-8-5に示す通りである。

シハヌークビル沖合では6カ所の海上油田の開発が行われているか計画されている。海上油田への補給と、木片・石炭等のバルク貨物の取扱を行う多目的ターミナルも、JICAの支援のより現在詳細設計の段階に入っている。

シハヌークビル港以外にも、スレアンベル港、カンポット港、オクニャモン港等の小規模な港が存在している。特にオクニャモン港は一般貨物を頻繁に取り扱っている。カンポット港は現在拡張工事中である。またコーコンのキラサコール港も砂糖輸送のために拡張を計画しているが、同地では新しい深水港の建設計画もある。その他プリー・シハヌーク州のスタンハブでの国際港、ケップ洲での観光港計画などがある。

表4-8-1 シハヌークビル港の設備の状況

ターミナル	長さ (m)	深さ (m)	バース	用途
新埠頭	350	-9.0 (-10.50)	2	Medium size vessels
コンテナターミナル	400	-10.50 (-11.50)	3	Medium size vessels
一般貨物	290	-8.40	2	Inner berth of Old Jetty
旅客ターミナル	290	-8.40	2	Outer berth of Old Jetty
◎ 以下は民間会社に属する石油製品陸揚げ施設				
Sokimex	200	-10.00	1	Oil jetty
ボンツーン	110	-6.00	1	Oil jetty
石造埠頭	53	-4.50	1	Oil jetty
Tela	220	-7.10	1	Oil jetty

表4-8-2 シハヌークビル港の貨物取り扱い設備

種類	容積	数量 (単位)
移動式ハーバークレーン	60t	2
埠頭ガントリークレーン	30.5t	2
ゴムタイヤガントリークレーン	35.5t	7
スーパースタッカー	45t	8
空スタッカー	7.5t	1
トレーラー	20t- 40t	33
岸壁クレーン	10t - 50t	9
フォークリフト	3t - 25t	17
貨物用トラック	10t - 20t	8

<sup>5</sup> 出所: PAS brochure, April 2012

表4-8-3 シハヌークビル港の保管・貯蔵設備の状況

ターミナル		面積 (m <sup>2</sup> )	容積	数量(単位)
コンテナターミナル (750m)	平面位置数	139,000	2,724 (TEUs)	1
	保管能力		10,176 (TEUs)	
	年間保管能力		370,406 (TEUs)	
倉庫		36,000	60,000 tons	5 blocks
リーファーコンテナ				54 socket

表4-8-4 シハヌークビル港の貨物取扱量

	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
貨物総取扱量(トン)	1,818,877	2,057,967	1,874,095	2,217,150	2,439,384
コンテナ取扱量(TEU)	253,271	258,775	207,861	222,928	237,941
一般貨物取扱量(トン)	193,572	291,114	241,494	374,801	372,554

表 4-8-5 シハヌークビル港への配船状況

船会社	便数	寄港地
Maersk	週2便(月8便)	SGN-SHV-LZP-TPP-SIN-BTG-MNL-KAO-YAT-HKG-SGN-SIN-SHV-TPP-SIN
RCL	週3便(月12便)	SIN-SHV-SGZ-SIN HKG-SHV-SGZ-HKG-(HPH-TXG-KEL) KUN-SHV-SGZ-SIN-KUN
SITC(Ben Line)	週1便(月4便)	HCM-SHV-BKK-LZP-HCM-NSA-NBO-SGH-OSA-KOB-BUS-SGH-HKG-HCM
ITL(ACL)	週1便(月4便)	SGZ-SHV-SIN-SGZ
APL	週1便(月4便)	SIN-SHV-SIN
Cots	隔週1便(月2便)	BKK-SHV-BKK-(LZP)
合計		週9便

## 4.9 内陸水運

カンボジアの内陸水運のネットワークはメコン川とその支流、トンレサップ川、バサック川から構成されており、雨期には全長約1,750km、航行が制限される乾季には全長約580kmに及んでいる。地形が湾曲しているために、船体が110m以上の船舶は航行できない。内陸水運のネットワークのうちメコン川の主流が全体の30%、トンレサップ川が15%、バサック川5%、その他の支流が50%をそれぞれ占めている。

プノンペン港(Phnom Penh Autonomous Port)はカンボジアとベトナム国境のカムサムナー(Kaam Samnar)から100キロ、南シナ海への出口であるチュウテイアウ(Cuu Tieu)から332キロに位置している。同港には国内向けの埠頭があり、多くの州への物流基地となっている。内陸河川沿いの主な港は次の通りである。

- スタントレン(Stung Treng) 港:クラティエ港から1,280キロのメコン上流
- クラティエ(Kratie) 港:コンボンチャム港から121キロのメコン上流

- トンレベト(Tonle Bet Port) 港:コンボンチャム州、プノンペンから106キロのメコン上流
- ニークロアン(Neak Loeang) 港:プリベン州、プノンペンから60キロのメコン下流
- コンクニャス(Chong Khneas) 港:シムリアップ州、プサル・クロム港から190キロのトンレサップ川上流
- プサル・クロム(Phsar Krom) 港:プノンペンから100キロのトンレサップ川上流

陸路による輸送が増加しているために、内陸水運による輸送は近年、プノンペンとベトナム南部のCai Mep間を除いて減少傾向にある。地方の住民は都市部の市場との取引、生活必需品を入手するために、メコン川及びその支流を経由する船舶での輸送を利用する。メコン川を航行できる船舶の大きさは表4-9-1の通りである。

2011年には472隻の国際船舶・平底船、885隻の石油平底船、103隻のカンボジア籍船舶・平底船がプノンペン港に寄港し、コンテナ取扱量は81,631 TEUとなっている。プノンペン港の現状については表4-9-2の通りである。プノンペン港は国際貨物も取り扱っている。2009年6



表4-9-1 メコン川で航行可能な船舶の大きさ

	プノンペンまでの主流	トンレサップ川及び プノンペン・シェムリアップ間
石油	タンカー 1,000 DWT/ Draught 4.0m	
コンテナ	荷船 1,900 DWT (120TEU)/ Draught 3.8m	
一般貨物	荷船 1,500 DWT/ Draught 4.0m	
観光用の客船	50-65 名 Draught 1.5m	50-65 名 Draught 1.5m
スピードボート	25 名 Shallow Draught	25 名 Shallow Draught

出所: Infrastructure and Regional Integration Technical Working Group (2010)

表4-9-2 プノンペン港の現状

水路	埠頭			その他施設等
	名称	構造	全長	
維持管理浚渫 (チャトモック) 深さ: 7m 広さ: 60m 長さ: 1,290m 容積: 159,648 m <sup>3</sup>	第1埠頭			[コンテナ・ヤード] 積荷入コンテナ用: 2ヶ所、 空コンテナ用: 1ヶ所
	No.1	ジェティー(貨物積み下ろし スペース: 20m)	合計: 300m	
	No.2			
	No.3			
	第2埠頭(旅客用)			第1埠頭から1キロ下流
	No.5b	ポンツーン	15x45m	
	No.5c	ポンツーン	15x45m	
民間設備			プノンペンから 4~13km 程度上流	
オイルバージ用8施設		接岸可能サイズ: 600-1,000DWT		

出所: Infrastructure and Regional Integration Technical Working Group (2010)

月にカイメップ(Cai Mep) 深海港の運用が始まってから、プノンペン地域では、メコンの水運を利用して貨物をカイメップへ運び、そこからアメリカやシンガポールへ輸出する業者が増えている。このルートの方が、コスト面・配送時間面で有利とされている。

増加する需要に応えるため、プノンペン港では2011年3月9日から、プノンペンの東30キロ、メコン河と国道1号線沿いのカンダール州キエンズバイ(Kien Svay)で、新コンテナ埠頭の建設を始めている。この埠頭は10ヘクタールの面積を持ち、同時に5,000トンクラスの舟2隻が接岸可能で、年間12万TUEのコンテナ取扱能力を有する。建設にあたっては中国政府は資金を援助し、上海建設集団(Shanghai Construction Group)が工事を担当し、約30カ月で完成する見込みである。

#### 4.10 工業用地

##### 立地面から見た経済特別区

近時、経済特別区(経済特区)への工業投資が加速して来ている。2009年10月時点では36プロジェクトが経済特別区に立地していたが、2011年10月には94プロジェ

クトへと大きな増加を示している。さらに幾つかのプロジェクトがカンボジア経済特区委員会の適格投資プロジェクトとしての承認を待っている状態である。

カンボジア政府は現状22カ所の経済特区に対して認可を出している。その内14の経済特区は政令で正式に許可を受け、他の8つの経済特区はカンボジア経済特区委員会の「条件付投資登録証明書」(Conditional Registration Certificates: CRC)を受領している。経済特区の場所は下図に示す通りである。

##### 経済特区の現状

認可済経済特区の内21カ所は民間が開発・運営するもので、1カ所のみが公社が開発・運営を行う。2011年11月時点では、94のプロジェクトが8カ所の経済特別区に立地している。投資家に好まれている地域は、表4-10-1に示す通りプノンペン、スバイリエン、シハヌークである。

##### 経済特区外の工業立地

投資プロジェクトはその性質によりカンボジア国内の様々な場所に立地しているが、主要道路沿いに集中している。主要国道が通っている州は下記の通りである。

- 国道1号線:カンダール、スバイリエン
- 国道3号線:カンダール、カンポット
- 国道4号線:コンポンスプー、コーコン、プリ・シハヌーク
- 国道5号線:コンポンチュナン、プサット、バタンバン
- 国道6号線:バンテイ・ミンチェイ、シエムリアップ
- 国道7号線:コンポンチャム

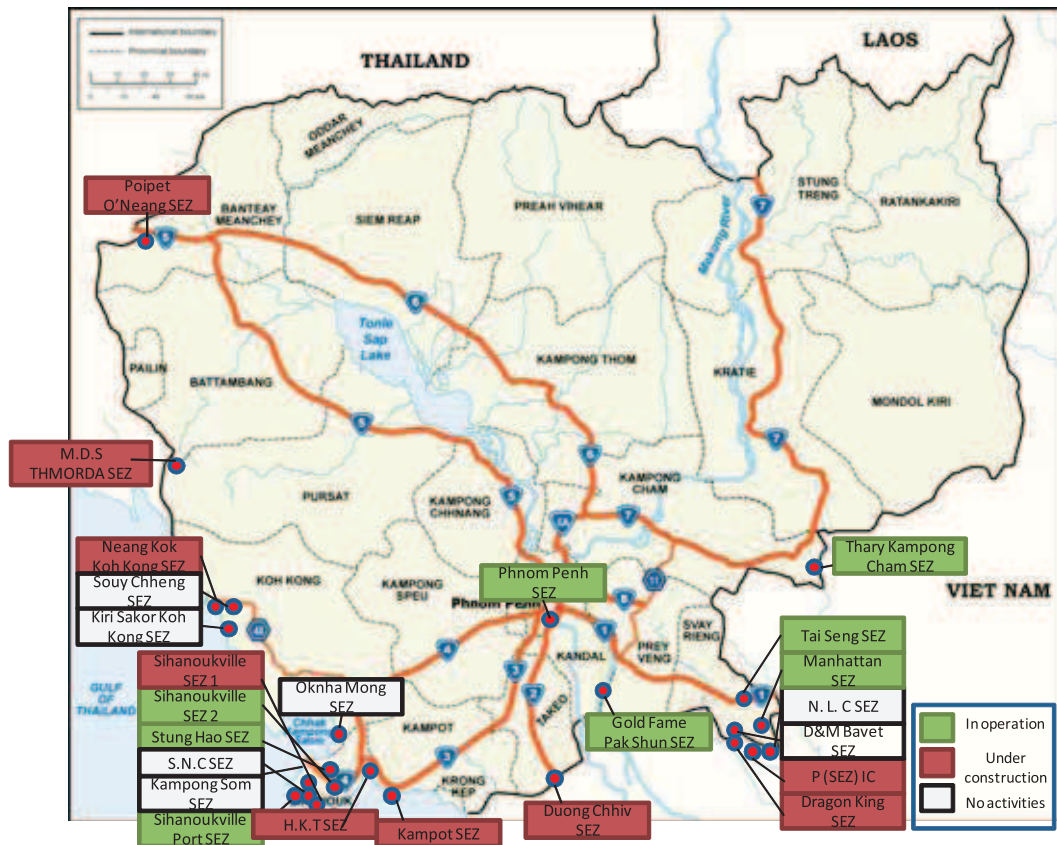


図4-10-1 経済特区の分布図

表4-10-1 カンボジアの経済特区(2011年10月)

1. Neang Kok Koh Kong SEZ	
1) 住所	Neang Kok Village, Pakkhlong Commune, Mundul Seyma Destrict, Koh Kong Province (5km from Thai border)
2) 面積	335.43 ha.
3) 実施状況	入口、道路、タイからの電力線の引込、給水:完了 フェンス、管理棟、排水処理:施行予定
4) 進出企業	1- Gamko Motor Company Ltd. (Vehicle assembly and spare part) 2- Yazaki Cambodia Products Co., Ltd. (Wire harness) 3- KKN Apparel Co., Ltd. (Garment) 4- MIKASA Sports (Cambodia) Co., Ltd. (Sporting goods)
2. Suoy Chheng SEZ	
1) 住所	Neang Kok Village, Pakkhlong Commune, Mundul Seyma Destrict, Koh Kong Province
2) 面積	100 ha.
3) 実施状況	未施工
4) 進出企業	なし
3. S.N.C SEZ	
1) 住所	Sangkat Bet Trang, Khan Prey Nob, Preah Sihanouk Province
2) 面積	150 ha.
3) 実施状況	未施工
4) 進出企業	なし
4. Stung Hav SEZ	
1) 住所	Sangkat O Tres, Stung Hav District, Preah Sihanouk Province
2) 面積	196 ha.
3) 実施状況	開発中
4) 進出企業	なし
5. N.L.C SEZ	
1) 住所	Phum Prey Phdao abd Phum Thlok, Khum Chrok Mtes, Srok Svay Teab, Sray Rieng Province
2) 面積	105 ha.
3) 実施状況	未施工
4) 進出企業	なし
6. Manhattan (Svay Reing) SEZ	
1) 住所	Bavet Commune, Chantrea District, Svay Rieng Province - 6km from Vietnam border on National Road No.1
2) 面積	180 ha. - 1 <sup>st</sup> phase: 20 ha (Commercial zone) - 2 <sup>nd</sup> phase: 60 ha (Manufacturing zone: completed) - 3 <sup>rd</sup> phase: 100 ha
3) 実施状況	第1期向けフェンス、入口、管理棟、ベトナムからの電力線引込、給水:完了 廃水処理:今後施行予定
4) 進出企業	1- Best Way Industry Co., Ltd. (Bicycle) 2- S.Y.G. Steel International Co., Ltd. (Bold-nut) 3- Kingmaker Footwear Co., Ltd. (Footwear) 4- Sheico (Cambodia) Co., Ltd. (Neoprene wet suits) 5- Forest Packing (Cambodia) Co., Ltd. (Packing bag) 6- Pique Garment Co., Ltd. (Garment) 7- Leegrow Plastic Packaging Co., Ltd. (Packaging bag) 8- Ampac Packaging (Cambodia) Ltd. (Packaging products) 9- Eastern Industrial Enterprise Inc. (Garment and textile) 10- Visca Plastics Joint Stock Company (Plastic) 11- Angkor Spring Co., Ltd. (Mattress products) 12- Kaoway Sports Ltd. (Sport Shoes) 13- Morofuji (Cambodia) Co., Ltd. (Bags and package products) 14- Top Sports Textile Ltd. (Textile and garment) 15- Wally Packaging (Cambodia) Co., Ltd. (Packing bags) 16- Elite (Cambodia) Co., Ltd. (Garment) 17- Front Packaging (Cambodia) Ltd. (Packaging products) 18- Seed Tech Industrial Co., Ltd. (Bicycle) 19- Randy Crafts Co., Ltd. (Gifts products) 20- Long Bright Electric Enterprise Co., Ltd. (Light string)

	<p>21- J F Industrial (Cambodia) Co., Ltd. (Umbrella)  22- Felecity Garment (Cambodia) Corporation Ltd. (Garment)  23- San Feng (Cambodia) Company Limited (Blinds and window covering)  24- Xia Fang Hanger (Cambodia) Co., Ltd. (Hanger)  25- Angkor Shine Development (Cambodia) Co., Ltd. (Garment and hanger)  26- Powerjet Home Product (Cambodia) Company Limited. (Household and car cleaning tools)  27- Qingdao Yiqing (Cambodia) Co., Ltd. (Clock and craft)</p>
<b>7. Poi Pet O' Neang SEZ</b>	
1) 住所	Poipet Commune and Nimit Commune, O' Chhrov District, Banteay Meanchey Province
2) 面積	467 ha.
3) 実施状況	フェンス、入口、電柱: 施行済
4) 進出企業	<p>1- Campack Co., Ltd. (Jewelry Packing)  2- Wireform Precision Parts Co., Ltd. (Plastics)  3- Simmers Inter Co., Ltd. (Jewelry Product)  4- ML Intimate Apparel (Cambodia) Co., Ltd. (Garment accessories)  5- Hi-Tech Apparel (Cambodia) Co., Ltd. (Garment)</p>
<b>8. Doung Chhiv Phnom Den SEZ</b>	
1) 住所	Kiri Vong District, Takeo Province
2) 面積	79 ha.
3) 実施状況	土地造成、フェンス: 施行中
4) 進出企業	なし
<b>9. Phnom Penh SEZ</b>	
1) 住所	Khan Dangkao, Phnom Penh and Ang Snuol District, Kandal Province - 18km from Phnom Penh
2) 面積	<p>360 ha.  - 1<sup>st</sup> phase: 141 ha (Completed)  - 2<sup>nd</sup> phase: 162 ha (Construction started from January 2011)  - 3<sup>rd</sup> phase: 57ha (Living area)</p>
3) 実施状況	フェンス、道路、管理棟、入口、電力、給水、排水処理、電気通信: 完了
4) 進出企業	<p>1- Navy Water Production Co., Ltd. (Drinking water)  2- Bok Seng PPSEZ Dry Port Co., Ltd. ( Dry port)  3- Redial Industrial Co., Ltd. (Plastic)  4- Civil (CP) Construction Product Ltd. ( Pole)  5- Tiger Wing Co., Ltd. ( Footwear)  6- Evergreen Industrial Co., Ltd. (Garment)  7- Yamaha Motor Cambodia Co., Ltd. ( Motorcycle assembly, accessories and spare parts )  8- Cambodia Success Industries Co., Ltd. (Steel processing for construction material)  9- Agricom (Cambodia) Co., Ltd. (Sugar packaging)  10- Cambox Private Limited. (Plastic)  11- Ji-Xiang Co., Ltd. (Cartons and papers processing)  12- Colben Energy (Cambodia) PPSEZ Ltd. (Power Plant)  13- Yi Xiang Co., Ltd. (Plastic)  14- Ajinomoto (Cambodia) Co., Ltd. (Seasoning and food processing)  15- Sin Chn Hong (Cambodia) Plastics Industry Co., Ltd. (Plastic)  16- Clean Circle Co., Ltd. (Leather shoes)  17- Cambodian Food Processing and Distribution Co., Ltd. (Food processing)  18- Sichuan New Hope Agribusiness (Cambodia) Co., Ltd. (Animal feed)  19- MKK Co., Ltd. (Cigarette and cigar)  20- Liwayway (Cambodia) Food Industries Co., Ltd. (Food processing)  21- Haru Phnom Penh Comic Center Co., Ltd. (Comic book assembly and authoring)  22- Dishells (Cambodia) Ltd. (Heat insulation and its products)  23- Proceeding (Phnom Penh) Co., Ltd. (Japanese traditional clothes)  24- FST PP Co., Ltd. (Japanese traditional clothes)  25- Shin Feng Paper Co., Ltd. (Carton box and paper processing)  26- Atlas Ice (Cambodia) Co., Ltd. (Ice manufacturing)  27- Thibidi (Cambodia) Co., Ltd. (Electrical equipment)  28- Minebea (Cambodia) Co., Ltd. (Small-size motor)  29- 29-O and M (Cambodia) Co., Ltd. (Leather products)  30- Combi (Cambodia) Co., Ltd. (Baby goods and toy)  31- Marunix (Cambodia) Co., Ltd. (Wire harness assembly)  32- Sumi (Cambodia) Wiring Systems Co., Ltd. (Wiring harness)  33- Kyowaseikan (Cambodia) Co., Ltd. (Packaging materials)</p>



	<p>34- Sunhsin Thread and String (Cambodia) Co., Ltd. (Shoulder pads)  35- Zion Label and Printing Co., Ltd. (Labels)  36- Fontz Power Co., Ltd. (Garment and bags)  37- KLB Bio-Energy Investment (Cambodia) Co., Ltd (Briquette)  38- Japan Rocks S.E.A (Phnom Penh) Co., Ltd. (Garment)  39- Soon-West (Cambodia) Co., Ltd. (Electronics parts)  40- Medipro (Cambodia) Co., Ltd. (Medical device and sterilization)  41- Weibo EIC Garment Manufacturing (Cambodia) Co., Ltd (Garment)  42- Weibo Best Production (Cambodia) Co., Ltd. (Garment)  43- Mega Labels and Strikers (Cambodia) Co., Ltd. (Labels and strikers)  44- Yamato Konpo International (Cambodia) Co., Ltd. (Packaging materials)  45- Jia Long Plastic Porducts Co., Ltd. (Plastics)  46- Marusan Plastic (Phnom Penh) Co., Ltd. (Automobile parts)  47- KEZA (Cambodia) Limited. (Elastic bands)  48- Taica (Cambodia) Corporation (Plastics)  49- Taiwa Seiki (Cambodia) Corporation (Rice mill)  50- CH Steel Wire Industries (Cambodia) Co., Ltd. (Steel wire for construction)  51- Footmark (Cambodia) Co., Ltd. (Sportswear and sport equipment)  52- Meikodo (Cambodia) Co., Ltd. (Pin product)  53- G.S.Electech (Cambodia) Inc. (Wire harness)</p>
<b>10. Kampot SEZ</b>	
1) 住所	Koh Toch commune, Kampot district, Kampot Province
2) 面積	145 ha.
3) 実施状況	土地造成、カンポット港改良工事: 施行中
4) 進出企業	1- Kampot Electricity Supply Co., Ltd. (Power plant of 270 MW by Coal fired)
<b>11. Sihanoukville SEZ 1</b>	
1) 住所	Stung Hav District, Preah Sihanouk Province
2) 面積	178 ha.
3) 実施状況	開発中
4) 進出企業	<p>1- Cambodian Energy Limited (To build, operate and own 100 MW coal-fired power generation plant)  2- C.I.I.D.G Erdos Hongjun Electric Power Co., Ltd. (Power plant of 3x135 MW by coal-fire)</p>
<b>12. Tai Seng Bavet SEZ</b>	
1) 住所	Bavet District, Svay Rieng Province - 7km from Vietnam border on National Road No.11
2) 面積	<p>125 ha.  - Main phase: 77 ha.  - Sub phase: 48 ha. (5km form the main phase site toward Phnom Penh)</p>
3) 実施状況	入口、管理棟、道路、ベトナムからの電力線引込、給水: 完了 フェンス、排水処理: 施行予定
4) 進出企業	<p>1- Atlantic Cycle Co., Ltd. (Bicycle)  2- La More (Cambodia) Ltd. (Footwear)  3- DK Inc. (Garment)  4- Yorks (Cambodia) Co., Ltd. (Gloves)  5- Smart Tech (Cambodia) Co., Ltd. (Bicycle)  6- A and J (Cambodia) Co., Ltd. (Bicycle)  7- Swany (Cambodia) Corporation (Gloves)  8- Helsa South East Asia Co., Ltd. (Shoulder Pads)  9- Towa (Cambodia) Co., Ltd. (Men's Suits)  10- Nakayama Cambodia Co., Ltd. (Baby underwear)  11- Ronchester Inc (Garment)  12- ATX Industrial (Cambodia) Co/, Ltd. (Footwear, Sports leisure and related components)  13- Jiangsu Likang (Cambodia) Co., Ltd. (Medical products)  14- Japana (Cambodia) Co, Ltd. (Sport wear and gloves)  15- Xinsheng Plastic Pack (Cambodia) Co., Ltd. (Packaging products)  16- Tokyo Parts Industrial (Cambodia) Co., Ltd. (Coils and transformers)  17- La Peluche Couture Co., Ltd. (Stuffed Toys, Baby Sewing Goods and Sewing Bags)  18- Fopack (Cambodia) Enterprise Corporation (Plastics)</p>
<b>13. Oknha Mong SEZ</b>	
1) 住所	Srea Ambel District, Koh Kong Province
2) 面積	100 ha.
3) 実施状況	開発予定

4) 進出企業	なし
<b>14. Goldfame Pak Shun SEZ</b>	
1) 住所	Sa Ang District, Kandal Province
2) 面積	80 ha.
3) 実施状況	フェンス:完了
4) 進出企業	1- Gold Dragon Printing & Carton Boxes Factory Co., Ltd. (Carton, Printing plastic label, Knitting) 2- Kingway Manufacturing Limited (Garment) 3- 3-Good Ray Development Limited (Garment)
<b>15. Thary Kampong Cham SEZ</b>	
1) 住所	Da commune, Memot District, Kampong Cham Province
2) 面積	142.14 ha.
3) 実施状況	未施工
4) 進出企業	なし
<b>16. Sihanoukville SEZ 2</b>	
1) 住所	Pou Thoug Village, Betrang Commune and Smach deang Village, Ream Commune, Prey Nop District, Preah Sihanouk Province - 12km from Sihanoukville Port
2) 面積	1,688 ha.
3) 実施状況	道路、管理棟、入口、電力、通信設備:完了 フェンス、給水、排水処理:開発予定
4) 進出企業	1- Nanguo Garment co., Ltd (Garment) 2- Hongdou International Garment Co., Ltd. (Garment) 3- Qianlima Vehicle Co., Ltd. (Vehicle assembling) 4- Taihua Plastic Products Co., Ltd. (Plastics) 5- Huang Jia Arts and Crafts Co., Ltd. (Arts and crafts candle) 6- Wealth (Cambodia) Steel Industry Engineering Co., Ltd. (Steel processing for construction material) 7- Horseware Products Cambodia Co., Ltd. (Horse ware products) 8- Zhong Zheng (Cambodia) Co., Ltd. (Material for construction) 9- Keptop Sporting Goods (Cambodia) Co., Ltd. (Bags) 10- Brilliant Shoes Factory Co., Ltd. (Shoes) 11- Prosource Electronics (Cambodia) Co., Ltd. (Household appliances) 12- Wan Hai Hanger (Cambodia) Co., Ltd. (Founded hanger) 13- Continental Cycles Cam Co., Ltd. (Bicycles) 14- Galey Global (Cambodia) Co., Ltd. (Garment) 15- Oufeiya Leather (Cambodia) Co., Ltd. (Leather products) 16- Asle Electronic (Cambodia) Co., Ltd. (Electronics parts) 17- Shandong Forest Wood (Cambodia) Co., Ltd. (Floor and plywood) 18- Izumi (Cambodia) Co., Ltd. (TV frame and electric parts) 19- Rebecca Hair Products (Cambodia) Co., Ltd. (Hair products) 20- Cambodian Gateway Underwear Co., Ltd. (Underwear garments) 21- Sure Success (Cambodia) Industrial Co., Ltd. (Lever arch & ring mechanism) 22- Clear Water Leather Supply Co., Ltd. (Sofa cover of leather) 23- Happy Leather (Cambodia) Co., Ltd. (Leather products) 24- J.D.Y Pharm Co., Ltd. (Bio-Tech pharmaceuticals) 25- Janda (Cambodia) Garments Mfg Co., Ltd (Garment)
<b>17. D&amp;M Bavet SEZ</b>	
1) 住所	Bavet commune, Chantrea District, Svay Rieng Province
2) 面積	117.95 ha.
3) 実施状況	未施工
4) 進出企業	なし
<b>18. Kiri Sakor Koh Kong SEZ</b>	
1) 住所	Khum Prek Kasach, Srock Kirisakor, Koh Kong Province
2) 面積	1,750 ha.
3) 実施状況	未施工
4) 進出企業	なし
<b>19. Sihanoukville Port SEZ</b>	
1) 住所	Tomnop Rolok Area, Sangkat Lek1 and Lek3, Sihanoukville City, Preah Sihanouk Province - Adjoining Sihanoukville Port
2) 面積	70 ha.

3) 実施状況	土地造成、フェンス:完了 入口、道路、管理棟、電力、給水、排水処理、通信設備、作業員寮、職員アパート:2012年初完成済
4) 進出企業	Ojitex Harta Packaging (Sihanoukville) Limited (Carton box)
<b>20. Kampong Saom SEZ</b>	
1) 住所	Village 4, Ortres Commune, Stung Hav District, Preah Sihanouk Province
2) 面積	255 ha.
3) 実施状況	未施工
4) 進出企業	なし
<b>21. P (SEZ) I C</b>	
1) 住所	Salatean and Preytob Villages, Chhrokmates Commune, Svayteab District, Svay Rieng Province.
2) 面積	107.55 ha.
3) 実施状況	未施工
4) 進出企業	なし
<b>22. MDS THMORDA SEZ</b>	
1) 住所	Khum Thmorda, Srock Veal Veng, Pursat Province
2) 面積	2,265 ha.
3) 実施状況	未施工
4) 進出企業	なし
<b>23. Kandal S.E.Z</b>	
1) 住所	Puk Rouesey and Prek Om Pel Commune, Khsach Kandal District, Kandal Province
2) 面積	105.0 ha.
3) 実施状況	未施工
4) 進出企業	なし
<b>24. H.K.T SEZ</b>	
1) 住所	Prek Torl and Terk Tlar Commune, Prey Nub District, Preah Sihanouk Province
2) 面積	345.2 ha.
3) 実施状況	未施工
4) 進出企業	なし
<b>25. Dragon King SEZ</b>	
1) 住所	Road No.1, Ang Sela Village, Prey Angkunh Commune, Bavet City, Svay Rieng Province
2) 面積	106.5 ha
3) 実施状況	未施工
4) 進出企業	なし

出所:カンボジア経済特区委員会プロジェクト実施表